

9月17日(日曜)午前：個別報告

会場A			会場B				
9:30~10:00	A1	増本 佐千子	障害者と「共に学び、共に生きる」実践的研究～東京都多摩地域における公民館事業からみた共生社会への試み～	B1	謝 京学	都市生活環境評価の体系的なレビュー	座長：中川 光弘 (茨城大学 / 東京日野国際学院)
10:00~10:30	A2	加藤木 ひとみ	科学館の展示場における職員と来館者との会話の実態と来館者への影響 一來館者を対象としたアンケート調査から	B2	白鳥 武	地球共生デザインの新実践例：異文化共生空間デザインへの挑戦 一共生学モデルに照らした地球共生デザイン手法のモデル化への本実践からの考察と共に一	
10:30~11:00	A3	岡野 一郎	大学における外国語教育と英語支配 一教養の言語から科学の言語へ一	B3	高橋 宏之	動物園という場からとらえる「人と動物の共生」一『世界動物園水族館保全教育戦略』を事例として一	座長：植木 美希 (日本獣医生命科学大学)
11:00~11:30	A4	栗原 智美	公教育の限界と共生社会を支える役割を探る 一青少年における野外炊事活動を軸として一	B4	立松 風太 森元 真理	大学生は放牧動物に対してどのようなイメージを持っているのか?	
11:30~12:00	A5	石川 伸次	学校給食費の無償化について 一給食費の無償化に踏み切る自治体に着目して一	B5	関 陽子	「殺生」の人間学的意味とは 一有害鳥獣捕獲における道徳的問い一	
12:00~12:30							

会場C			会場D				
9:30~10:00	C1	大和田 興	産業化社会における地域農業再生の検討 一福島県の農環境と地域社会の共生のための試論一	D1	上柿 崇英	「思念体」の研究 一A I、メタバース、アンドロイドがもたらすポストヒューマン時代の新たな世界観一	座長：泉 貴嗣 (小樽商科大学)
10:00~10:30	C2	小林 賢治 大和田 興	茨城県県央地域の干し芋経営の現状と課題 一テロワール概念を用いたケーススタディによる試論一	D2	笠原 恵美	若者を主体とした環境運動の理論的課題とその検討 一エコフェミニズムの立場から一	
10:30~11:00	C3	堀口 健治	強調すべきは営農型太陽光発電の多面的意義 一2分割の農地不適切利用を排除する規制強化は大事だが一	D3	東方 沙由理	健康意識から自然への配慮は可能となるか 一からだの健康と自然の受容に関する意識調査から一	座長：桑原 考史 (日本獣医生命科学大学)
11:00~11:30	C4	シュレーガ ベンジャミン 神代 英昭	日本の和牛ブランドに対する新型コロナウイルス感染拡大の影響 一和牛ブランド管理団体を対象としたアンケート調査結果より一	D4	村井 伸二	高齢社会における環境保護・保全運動の新たな可能性に関する考察 一自然観察会の実態調査から得られる成果と課題に着目して一	
11:30~12:00	C5	孔 擎暉 轟 海松 謝 京学	RCEP 協定が日本の農産物輸出に及ぼす影響：修正重力モデルに基づく	D5	佐々木 美貴	湿地保全とワイズユースを活かした市町村の特徴 一ラムサール条約自治体認証制度から見た共生社会の可能性一	
12:00~12:30	C6	李 皓瑀 内田 晋	中国農民栄養摂取量の推定				

9月17日(日曜)午後：学会内研究会ワークショップ

会場A：「人と動物の共生」研究会			会場C：共生社会研究会			
13:00~15:00	WS1	高橋 宏之	動物園と動物園法・博物館法を巡って	WS2	武谷 嘉之	共生社会の形成に資する地域振興・地域コミュニティ再生のあり方

会場A	農学部2号館 (農業経済棟1階 2C21教室)
会場B	農学部2号館 (農業経済棟1階 多目的スペース)
会場C	農学部2号館 (農業経済棟4階 農経大演習室)
会場D	農学部2号階 (農業経済棟1階 高度情報処理室)